

特別講演

地形から見る日本文明の過去と未来

(財)リバーフロント整備センター理事長

竹村 公太郎

地形から見る日本文明の過去と未来

地形と歴史との出会い・・・大阪の上町台地

(I) 地形から見る日本文明の歴史

1. 縄文海進から沖積平野へ

- ・6000年前, 縄文前期は5m海面上昇・・・縄文海進
- ・沖積平野は全て海面下. そこに河川の土砂堆積

2. 水との戦いの日本文明

- ・近代への助走・江戸
利根川の制御・・・銚子へ, 大放水路
荒川(隅田川, 大川)の制御・・・初めての治水ダム
市民が守った安全
- ・都市の弱点・・・飲み水

(II) 地形から見る日本文明の未来

1. 温暖化は開始された

- ・アルプス　・パタゴニア　・アフリカ　・ヒマラヤ　・北極

2. 想定外の気象の凶暴化

- ・10%の洪水氾濫域に50%人口, 75%資産

3. 失われていく天然ダム

- ・温暖化で雪が消えていく
- ・食糧自給と水
- ・日本の偉大なる遺産

4. 限界が見えてきたエネルギー

- ・オイルピーク
- ・人類に残された太陽エネルギー・・・太陽エネルギーは単位面積当たり薄い
- ・国土の70%がエネルギー集積装置

5. 日本文明は沈没するのか?

- ・海面上昇のトリガーは引かれた

—地形が救う日本列島—